



生徒と創る学びの情景

全員と、一人ひとりと

大阪府・私立^{せんしん}宣真高校 上田 誠先生

「多様な進路の生徒がいる本校の進路講話では、すべての生徒が自分事と捉え、将来を前向きに考えられるように話すことを心がけています」と語る上田先生。昨年の1月に行った、2年生対象の進路学習の授業では、ラジオのお悩み相談室という設定で、生徒が進路希望調査に書いた悩みに上田先生が答える動画を製作して流した。「選んだ進路が自分に向いているのか不安で、分からなくなってきました」という悩みに、「悩みを抱えたままのあなたで大丈夫。そんなあなただからこそ、目の前のものを大切にすることができるはずですよ」と答えた。現在3年生となった生徒は、「自分のことかなと思って、先生の言葉がずっと入ってきました」と振り返る。

生徒全員と向き合う一方で、生徒が自分らしい生き方をできるように、一人ひとりにも寄り添う。上田先生に小論文の作成について相談した看護学科志望の生徒は、「チーム医療や安楽死についてどう考えるかを先生と話すうちに、私が目指したい看護のあり方が見えてきました」と、自身の変化を語る。「大切なのは、自分がどうありたいか。その答えは生徒の中にしかありません。生徒が自分でそれに気づけるよう、これからも生徒に向き合い、寄り添い続ける教員でありたいと思っています」。

うえだ・まこと 同校に赴任して17年目。進路指導部長。国語科。

大阪府・私立宣真高校 1920（大正9）年設立／全日制／普通科／女子校／1学年約350人／2023年度卒業生進路実績 国公立大は、神戸市外国語大に1人が合格。私立大は、龍谷大、関西大、近畿大、桃山学院大などに延べ130人が合格。短大・専門学校進学180人。就職30人。